

私たちの環境への思いが、社会からの評価につながっています。

2002年度、環境への取り組みや技術が評価され、社外より各種の賞をいただきました。これを励みに、これからも積極的な環境活動を推進していきます。

## 社外表彰・評価実績

受賞名	受賞年月	主催・後援	受賞概要
平成13年度環境保全優良表彰	2002年6月	主催：新潟県環境保全連合会	対象：富士通機電新潟工場 地域企業・行政による環境対策活動への積極的参画、社内環境保全活動推進
第5回蓄熱のつとめ感謝状授与	2002年7月	主催：財団法人ヒートポンプ蓄熱センター	対象：富士通 蓄熱システムの積極的な導入を通じ、省エネルギー・環境保全に貢献したことが評価された
サステナビリティ株式指標の環境分野で4年連続1位	2002年9月	主催：ダウ・ジョーンズSAM サステナビリティ・グループ	対象：富士通 環境、社会、経済の3分野から持続可能性の高い企業を評価。4年連続、環境分野での活動が高く評価されたもの。
平成14年度ごみ減量優良標の贈呈	2002年10月	主催：大阪市環境事業局	対象：富士通関西システムラボラトリー 事業系廃棄物の減量推進および適性処理に功績のあった大規模建築物の所有者に対し贈呈
エコ・サークルゴールドランク	2002年10月	主催：長野市エコサークル	対象：新光電気工業更北工場 ごみの減量とリサイクルを積極的に推進している事業所
第34回花いっぱいコンクール優秀賞	2002年11月	主催：福島民友新聞社 協力：農林中央金庫、福島支店、 福島県緑化推進委員会	対象：富士通エイ・エム・ディ・セミコンダクタ 職場・地域団体の緑化コンクール
花園コンクール最優秀賞	2002年11月	主催：会津若松市民憲章推進委員会	対象：富士通エイ・エム・ディ・セミコンダクタ 職場・地域団体の緑化コンクール
花園コンクール優秀賞	2002年11月	主催：会津若松市民憲章推進委員会	対象：富士通会津若松工場
2002年優秀先端事業所賞	2002年11月	主催：日本経済新聞社	対象：富士通あきる野テクノロジーセンター 環境負荷の小さい蓄電池「NAS電池」を導入しているなどの取り組み
Top Ten Work Places in Region IV Philippines	2002年12月	主催：Department of Health	対象：Fujitsu Computer Products Corporation of The Philippines Commended as one of the Top ten work place in region IV Work
平成14年度資源エネルギー庁長官表彰 電気部門	2003年2月	主催：経済産業省	対象：富士通ITプロダクツ 藤井條示さん 電気に関する省エネルギーで多くの改善や啓発活動が評価された
平成14年度エネルギー管理優良工場 中国経済産業局長表彰 電気部門	2003年2月	主催：中国経済産業局	対象：鳥根富士通 エネルギー管理の改善
平成14年度エネルギー管理優良工場 関東経済産業局長表彰 電気部門	2003年2月	主催：関東経済産業局資源エネルギー部	対象：富士通那須工場 電気使用の合理化内容
2002年度資源循環技術・システム表彰	2003年3月	主催：クリーン・ジャパン・センター 後援：経済産業省	対象：富士通、東芝、タカ・マテリアル 廃シリコンウェハを太陽電池として再利用する高度リサイクルビジネスの構築
FTSE指標“ FTSE4Good Global Index ”	2003年6月	主催：英国FTSEインターナショナル社	対象：富士通 環境サステナビリティ、世界的な人権の支持・維持、ステイクホルダーとの積極的な関係の創出の3点が評価され、“ FTSE4Good Global Index ”に組み入れられた。

## 用語説明

### エコ・シナリオ・プランニング(P8 1)

未来においての地球環境や社会動向がどうなるのか、その未来がなぜ起こるのか、その推進要因について議論し因果関係を明確にしておくことで、複数の未来環境についてストーリー化を行う手法。直感的に社会構造の変化が理解でき先行的かつ柔軟な対応が可能となる。

### グリーン調達(P10 1)

環境への負荷が少ない部品・部材を優先的に調達すること。

### ISO14001(P13 1)

International Organization for Standardization(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステム(EMS: Environmental Management System)に関する規格。環境に配慮し、環境負荷を継続的に減らすシステムを構築した組織に認証を与えるというもの。

### 環境負荷改善率(EI値:Environmental Improvement Value)(P16 1)

環境保全に関わる費用に対する環境負荷低減効果(トン-CO<sub>2</sub>/億円)・環境保全に関わる費用1億円あたり、どれだけ環境負荷量(CO<sub>2</sub>)を低減させたかを示す指標。時系列およびセグメント間での評価を容易にし、環境保全活動の効率を判断することができる。

### 環境負荷利用効率(EE値:Environmental Efficiency Value)(P16 2)

環境負荷量あたりの売上高(億円/トン-CO<sub>2</sub>)・環境負荷量に対して得られる付加価値(売上高)を示す指標。事業活動における直接的な環境負荷の利用効率を判断することができる。(トン-CO<sub>2</sub>あたりの環境負荷を与えて、どれだけ売上高を得たか)

### グリーン購入法(P22 1)

「国等の環境物品等の調達の推進等に関する法律」。国の機関や都道府県・市区町村などの地方公共団体、事業者、国民、製造メーカーのそれぞれが、環境負荷の小さい環境物品など(エコマーク商品など)の調達・購入を推進することで、持続可能な社会の構築をめざす。2001年4月より施行。

### LCA(P23 1)

Life Cycle Assessment(ライフサイクル・アセスメント)の略。製品の一生を通じて、環境にどのような負荷をどの程度かけているかを定量的に評価する方法。

### モーダルシフト(P24 1)

環境保全(CO<sub>2</sub>、NOx排出抑制など)や省エネルギーのため、貨物輸送をトラックから大量輸送のできる鉄道や海運などに移していくこと。

### 拡大生産者責任(EPR)(P25 1)

EPRとは、Extended Producer Responsibilityの略で、生産者の責任を、製品の製造、使用、流通段階だけでなく、製品の廃棄処理・リサイクル段階まで拡大する考え方のこと。2000年6月に施行された「循環型社会形成推進基本法」に明記されている。

### 資源再利用率(P25 2)

社団法人電子情報技術産業協会で示された算定方法に基づき、使用済み製品の処理量に対する再生部品・再生資源の重量比率のこと。

### PRTR法(P33 1)

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」。企業などが化学物質の排出量および廃棄物としての移動量を行政に報告し、それを公表することにより化学物質・環境汚染物質による環境リスクの削減をはかる。2000年3月より施行。PRTRとはPollutant Release and Transfer Registerの略。

### PKI(P49 1)

公開鍵暗号技術に基づく情報インフラを構築し、これらの脅威に対抗するシステム。公開鍵方式を利用した電子署名による本人認証と、メールなど通信上の情報を保護するための暗号化を行う機能を提供する。

### ダイオキシン類(P50 1)

2378TCDDを代表する猛毒の有機化合物の総称で、人工化合物の中では最も毒性が高く、発ガン性や催奇性を持つことが知られている。塩素の数や場所により毒性が異なる。

### 土壌汚染対策法(P50 2)

土壌の有害物質による汚染に対処するため、2002年5月に環境省により制定された法律。有害物質を扱う工場や事業所の跡地など、汚染の可能性のある土地の所有者に対し、汚染状況の調査・報告を義務づけている。

### eラーニング(P51 2)

テレビ会議システムなどを活用した遠隔学習など、ITを活用した教育研修全般をさす呼称として用いられるが、多くの場合、教材が用意されたサーバにアクセスし、Webブラウザを活用して学習するオンライン型の遠隔学習のことを言う。